

		チェック項目	はい	どちらとも いえ ない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		高学年になるにつれ、体が大きくなり、一緒だと狭さを感じることがあります。構造上難しい面があり、配置や工夫で対応せざるをえないのが現状です。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		基準は適切に配置していますが、人数やメンバーによっては不足に感じる日があるようです。現場の意見を参考に、十分な職員が配置できるよう努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	教員住宅を改修しており、バリアフリーとなっております。現状では、身体に配慮が必要な方はお受けしていませんので、改修の予定はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		多機能型で児童発達支援も行っている中で、臨時職員も半数を占め、全員が一堂に会する機会が少なく十分とは言えない状況です。定期的に、全員が参加できる会議を開き、全職員の意見を反映しながら業務改善に努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを参考に、業務改善できるよう努めています。さらに、事業所内での共有や、改善に向けた内容を保護者の皆さんにわかりやすく提示していきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		施設外の研修に可能な限り参加し、内容の共有に努めていますが、施設内研修の充実が図れるよう、職員の意見を反映していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児発管によるアセスメントを行い、保護者・相談員と連携しながら計画書に反映させています。もっと深く話す機会を希望している保護者の方もいるので、定期的な懇談の機会を設けていきたいと思っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所独自のアセスメントツールを用いていますが、定期的な更新や見直しが十分にされていないので、来年度は適切に更新できるよう計画していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にミーティングを行い、個別学習での課題設定やSSTなどを立案しています。

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の状況や成長に合わせてプログラムを見直しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇では、外出体験やお料理、制作など平日には体験できない活動を行っています。が、その日ごとのねらいや課題が曖昧な部分もあるため、明確に提示していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		曜日単位で個別と集団活動を行っているため、一定の曜日しか利用がないお子さんは両方の活動体験が難しいです。長期休みのイベントに参加することで、集団活動に取り組めるようにしたり、週間予定にはない計画を時に取り入れるなど工夫していけたらと思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、次の支援に役立てています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングにて、子どもの状態を把握し、計画に反映しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子供によっては曜日限定の子がいるため、難しい面もありますが、ガイドラインは意識しながら支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が主に会議に参加しています。参加できない場合は、最も子どもの様子を理解している指導員が参加します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と連携して情報を共有できています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員主催の会議に参加し、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当者はありません。

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		あまり機会がありませんが、困難な事例では相談して連携が図れればと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近くに学童がありますが、交流はできていません。今後、行政とも相談して、交流や連携の方法を考えていきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		参加している職員と、参加機会のない職員がいる中で、関連する会議にはなるべく参加できるよう配慮し、参加後の情報共有に努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に、毎回行うフィードバックで共有しています。また、必要時面談を設定しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今年度は保護者の方への研修機会が作れませんでした。日々の振り返りの中で助言等アドバイスは行っていますが、来年度は希望に沿った研修会を開催できるようにしたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度保護者会も開けないままとなってしまいました。保護者同士の繋がりを求める声を頂いているので、形にしていきたいです。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情の対応方法は周知しています。保護者の方と話をして解決できていますが、その結果の公表や評価までではできていないので、マニュアルに沿って実施していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		行事予定や諸連絡はらくらく連絡網や紙面を通して行っていますが、活動の様子をお伝えする機会が少ないためお便りの発行も検討します。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	子供たち中心の活動で時間的に精一杯な状況です。地域との交流の機会を持ってないかと考えていますが、現状ではできていません。行政とも相談して検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			避難訓練(火事・地震)、感染予防・緊急時対応マニュアルは、契約時、保護者にも説明周知できています。防犯マニュアルも警察署の方の助言を参考に整備しました。

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			全児童が参加できるように火災、地震、防犯を想定した避難訓練を6回実施しました。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		虐待講習に毎年参加し、職員間で共有しています。が、虐待が日常的に起こり得ることであるという意識はまだ薄いかなと感じています。ミーティングの度に意識できるように話し合いの場を確保していきたいと思います。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	今年度対象者はいませんでした。必要性が生じた際は、マニュアルに沿って、委員会を中心に対応してまいります。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	該当者がいませんでしたが、対象者をお受けする際は十分注意してまいります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			再発防止のため、職員間で共有するようにしています。